理化学研究所寄附金
年次報告
2024年度

Ⅰ　ごあいさつ

理化学研究所（理研）の未来への挑戦

理化学研究所（理研）は1917年の創立以来、科学技術の発展を支え、人類社会の進歩に貢献してまいりました。そして今、私たちは、かつてないほどの変革の時代に立っています。2025年度から始まった第5期中長期計画（2025年度～2031年度）は、理研にとってのみならず、日本と世界の未来にとっても極めて重要な7年間です。生成AIの爆発的進化、量子技術の台頭、地球環境の危機、社会構造の変容―これらは単なる技術革新ではなく、人類文明の根幹を揺るがす大変革です。

このような時代において、理研が果たすべき役割はかつてないほど大きく、そして重いものです。科学の普遍性と信頼性を礎に、理研は「社会変革を駆動する科学技術の中核」として、未来社会の構築に挑みます。

今中長期計画では、基礎科学の総合研究所としての強みを活かし、各分野の卓越した研究力と最先端の研究インフラを有機的に連携させる「最先端研究プラットフォーム連携（TRIP）」構想を未来社会の設計図として発展させ、研究体制と質の高度化、新たなガバナンス体制の構築を通じて、世界が直面する課題に挑み始めています。

TRIP構想をはじめとする研究の進化、国内外の産官学との連携、そして研究者一人ひとりの自由な発想と創造力を尊重する環境整備を通じて、理研は社会課題の解決と新たな価値創造に取り組んでまいります。

寄附でつながる未来

理研の活動を支えてくださる皆さまのご寄附は、理研と皆さまで創る未来社会への「種」となります。私たちは、より多くの方々に理研の使命を知っていただき、理研の活動に共感していただきたいという想いから、協創の輪を広げる活動を続けています。

2024年度も多くの皆さまから温かいご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

皆さまから賜った寄附金は、例えば、環境資源科学の次世代育成や精神疾患の新たな治療法、人工骨の3D造形など、社会に希望をもたらす研究に活用されています。また、理研創設時からの貴重な史料の修復・保存にも役立てられ、日本の科学史を未来へつなぐ取り組みも進んでいます。

皆さまのご支援は、「社会変革を駆動する力」となり、科学者の自由な挑戦を支え、その重なりが共鳴することで、未来ビジョンが達成されます。

心より御礼申し上げますとともに、これからも、未来をともに育ててくださることをお願い申し上げます。

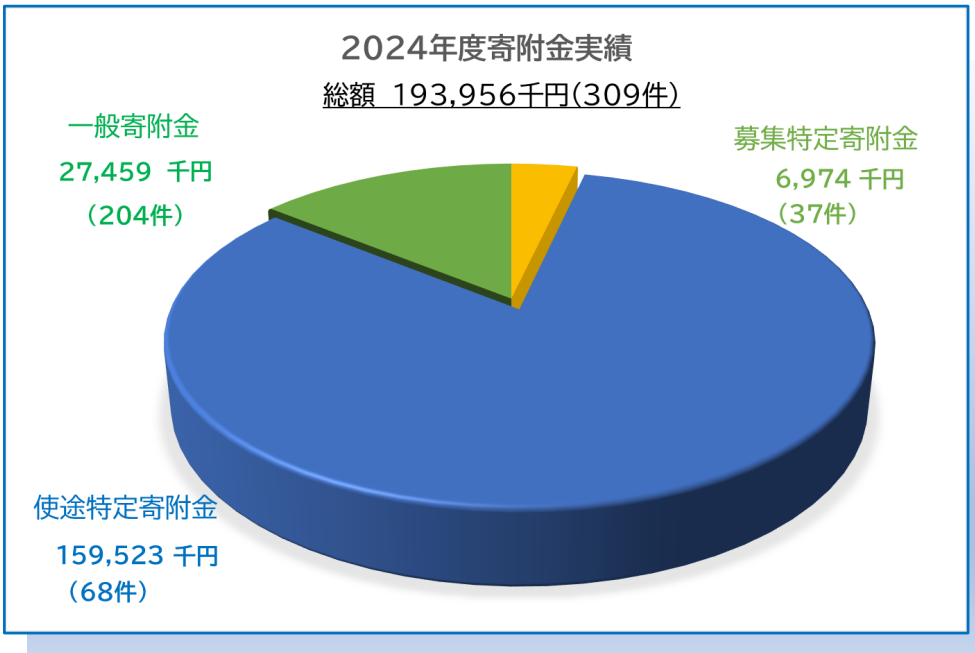
国立研究開発法人理化学研究所

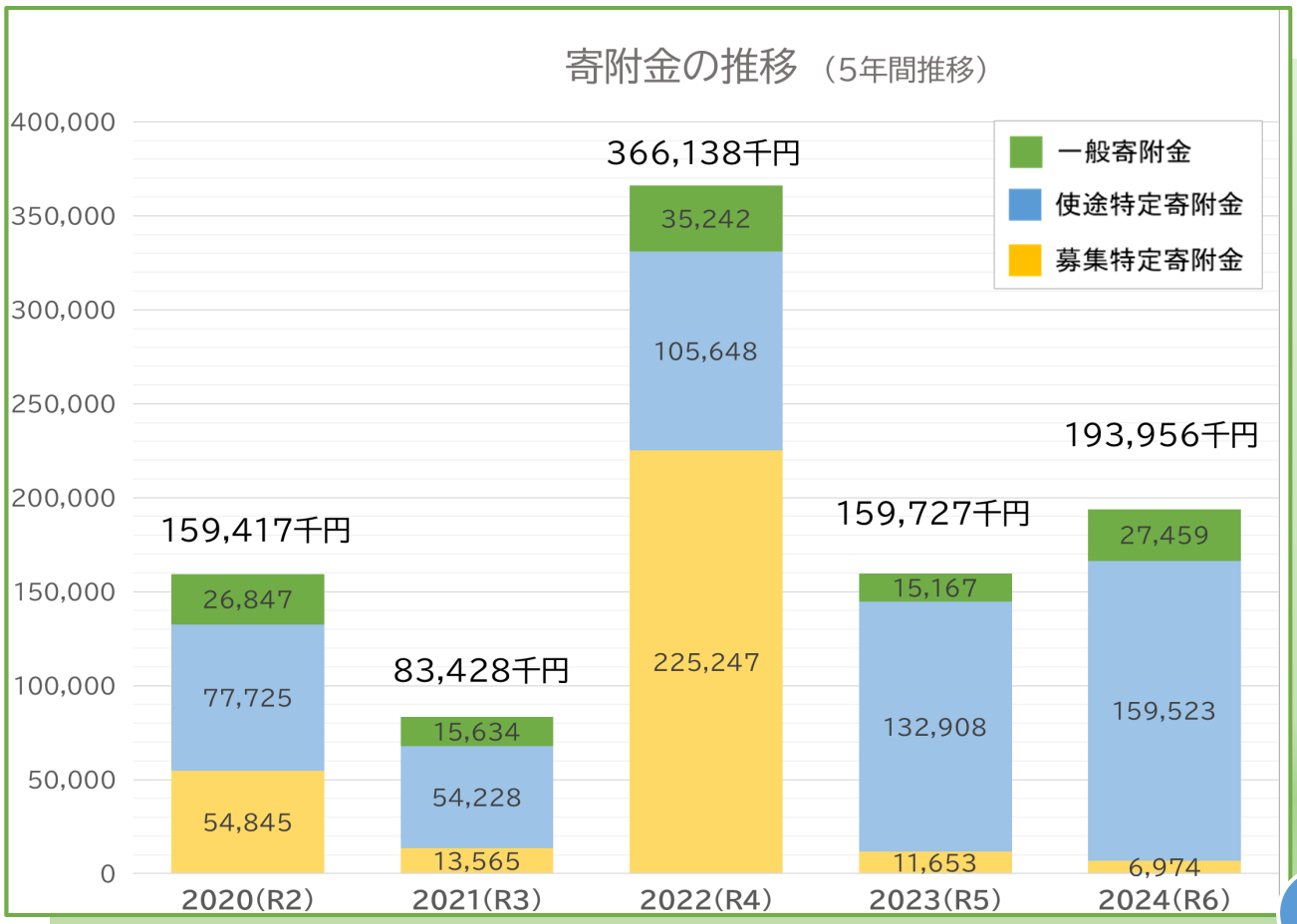
理事長　五神　真

Ⅱ　2024年度　寄附金の状況

寄附金の実績

2024年度も多くの寄附者の皆様から、総額約1億9千4百万円・総寄附件数309件にも上るたくさんのご支援をいただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





寄附金の使いみち

みなさまからご支援いただいた寄附金は、理研の様々な研究活動等に有効に活用させていただいております。

★一般寄附金

- 若手研究人材の育成経費

★募集特定寄附金

- 2025理研BDR－米国シンシナティ小児科病院　合同オルガノイドシンポジウム開催支援寄附金
- SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金
- 若手AI研究者育成支援寄附金
- 女性AI研究者育成支援
- 量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金
- 理研CBS未来ファンド－脳とこころの研究　未来を拓く寄附金
- バイオリソース高度化プロジェクト～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

★使途特定寄附金

- 光量子工学研究センター画像情報処理研究チームの人工骨作成研究に関する研究機器
- 放射光科学研究センターにおけるソフトマター構造科学のための先端計測手法及びデータ解析方法の開発に関する研究促進
- 主として脱炭素化社会実現に向けた取り組みやイノベーションに貢献する研究等を支援
- 科学・産業イノベーションの創出活動の推進および、社会課題の解決とSDGsの達成に向けた取り組みへの支援
- 開拓研究本部鈴木糖鎖代謝生化学研究室の研究支援
- 資料修復保存プロジェクト（史料室）
- 生命医科学研究センターにおける自己免疫疾患研究チームへの研究支援
- 開拓研究本部伊丹分子創造研究室伊丹 健一郎主任研究員への研究助成
- 光量子工学研究センターテラヘルツ光源研究チームの南出泰亜チームリーダーによる新原理に基づく超高感度テラヘルツ波コヒーレント検出の研究
- 長田義仁客員主管研究員「分子情報生命科学」に関する研究促進
- 創発物性科学研究センター創発デバイス研究グループ岩佐義宏グループディレクターへの研究助成
- 開拓研究本部渡邉分子生理学研究室における次世代のリキッドバイオプシーへの研究支援
- 生命機能科学研究センター先端NMR 開発・応用研究チームにおける高磁場NMRの材料応用研究支援
- 環境資源科学研究センター生命分子解析ユニット専任研究員中山洋先生への研究支援
- 光量子工学研究センター先端光学素子開発チームにおける薄膜測定・観察技術開発に関する研究への助成
- 仁科加速器科学研究センターイオン育種研究開発室における育種研究支援
- 脳神経科学研究センター多階層精神疾患研究チーム林（高木）朗子研究員による精神疾患に関する研究促進
- 開拓研究本部シュパイデル数理遺伝学理研ECL研究ユニットへの研究支援

- 情報総合本部への研究支援
- 生命医科学研究センターサイトカイン制御チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター炎症性免疫代謝研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター応用ゲノム解析技術研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター基盤技術開発研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター理研－IFOMがんゲノミクス連携研究チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センターNMR維持管理・共用促進チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センター創薬タンパク質解析基盤ユニットへの研究支援
- 創発物性科学研究センター創発デバイス研究グループへの研究支援
- 開拓研究本部岩崎RNAシステム生化学研究室への研究支援
- 最先端研究プラットフォーム連携（TRIP）事業本部科学研究基盤モデル開発プログラムへの研究支援
- 図書館の図書雑誌購入費
- 生命医科学研究センターエピゲノムダイナミクス理研ECL研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センターがんゲノム研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センターがん浸潤・転移研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センターゲノム解析応用研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター医科学数理研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター粘膜システム研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター非コードゲノム機能研究チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センタータンパク質機能・構造研究チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センター細胞シグナル動態研究チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センター創薬分子設計基盤ユニットへの研究支援
- 生命機能科学研究センター転写制御構造生物学研究チームへの研究支援
- 生命機能科学研究センター分子標的化学研究チームへの研究支援
- バイオリソース研究センター微生物材料開発室橋本陽研究員による日本産菌類の分類学的研究支援
- 理化学研究所 バイオリソース研究センター 植物-微生物共生研究開発チームの市橋 泰範氏のチームが協力している農林水産省「令和6年度食産業の戦略的海外展開支援委託事業（節水灌漑・土壌微生物活用等による輸出用米生産体系構築と輸出可能性調査）」の菌根菌の定量分析に関する研究。
- 開拓研究本部石橋極微デバイス工学研究室の研究促進
- 革新知能統合研究センター がん探索医療研究チーム
- 環境資源科学研究センター技術基盤部門質量分析・顕微鏡解析ユニット豊岡公徳上級技師による電子顕微鏡解析に関する研究支援
- 仁科加速器科学研究センター（仁科センター）の研究支援、ならびに展示施設「仁科芳雄記念室」の運営支援
- 数理創造プログラム山本暁久研究員のソフトマター物理・生命物理の研究助成
- 生命医科学研究センターヒト疾患モデル研究チームによる「急性骨髄性白血病の個別最適化治療へ一歩」等悪性な白血病の根治に向けた研究支援
- 和光地区の活動全般
- 脳神経科学研究センターにおける分子精神病理研究チームの 精神疾患の発症機序根本的解明と治療介入手段の一層の開発への研究支援
- 脳神経科学研究センター分子精神病理研究チームにおける統合失調症などの難治性精神疾患の病理の解明の研究支援
- スーパーコンピュータ富岳への支援

使途特定寄附金
人工骨作成研究に関する研究機器

光量子工学研究センター（RAP）
画像情報処理研究チーム

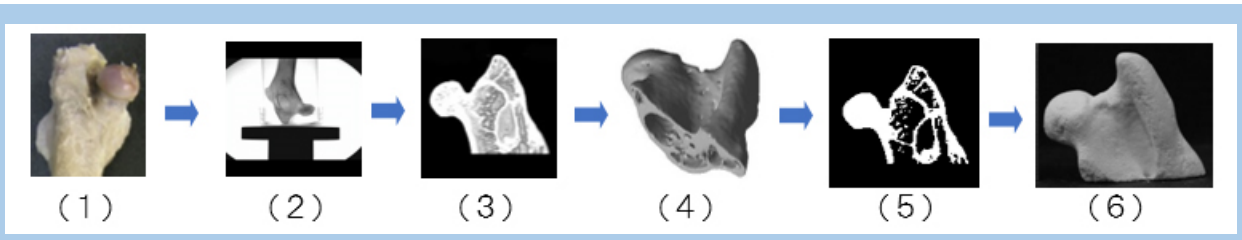
光量子工学研究センター（RAP）画像情報処理研究チームでは、患者の骨の内部を含む欠損部位の形状を再現した「人工骨」を3Dプリンター技術により作製する手法の開発研究を実施しています。

整形外科手術や頭頸部手術などにおいて、欠損骨への治療には「人工骨」が多く使用されています。人工骨は、ブロックや顆粒、セメントなどさまざまなタイプが市販されていますが、それぞれに特徴があり、疾患部位によって材料等を使い分ける必要があります。例えば、顆粒型は骨置換性に優れていますが、強度が低い。逆にセメントは骨置換性では劣りますが、変形が自由で、安定化後の強度は高いといった特徴です。また、股関節や膝関節などの長期にわたって構造材料としての高い強度が求められる場合には、チタン合金などが使用されますが、骨置換性が無いなどの課題があります。

RAP画像情報処理研究チームでは、3DプリンターによるBJT（Binder Jetting）方式で、骨の主成分であるリン酸カルシウム系粉末材料を用いた人工骨の造形技術を開発し、自家骨との生体親和性の向上が期待される人工骨の造形に取り組んでいます。この手法は、骨の内部構造を含む3次元構造を設計し、高い精度で3次元造形することができます。

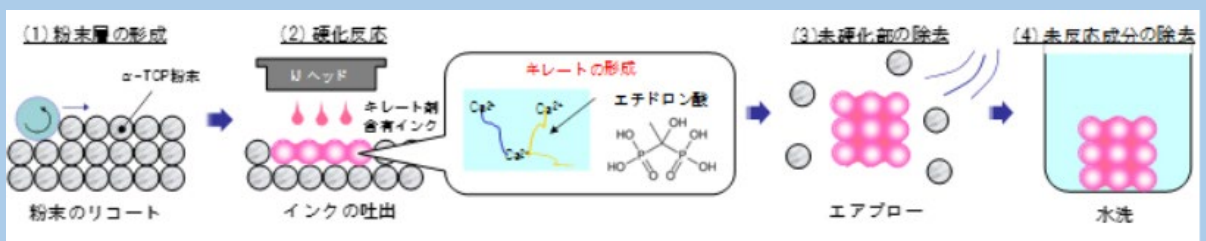
この技術では、造形の自由度が高く複雑な形状にも対応できるため、患者に合わせたオーダーメイドの人工骨を作製することができるとともに、必要な時にすぐに作製することができるといったメリットがあります。

生体形状から3D造形（BTJ法）までの主なプロセス



（1）生体形状（家兎大腿骨骨頭関節）、（2）X線CT装置による撮影、（3）断層画像の再構築、（4）3Dデータ出力（ポリゴン化）、（5）断面データ化（ビットマップ）、（6）3D造形物の完成。

3Dプリンターによる3次元積層造形プロセスの概要

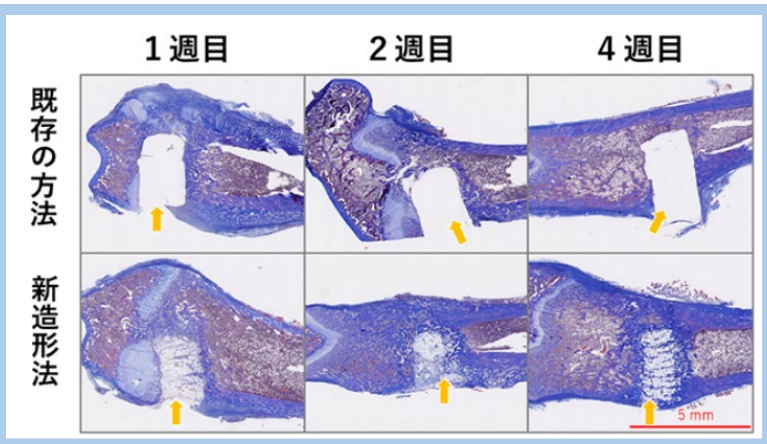


（1）リコートにより粉末層を形成する。（2）粉末層上にインクジェットヘッドから、エチドロン酸（キレート剤）を含む凝固インクを吐出する。すると、α-TCPはエチドロン酸とキレート反応により硬化する。（3）硬化しなかった粉末をエアーブローで取り除く。（4）キレート反応が起こらなかった部分を水洗によって除去する。

骨が外力を受けると、不要な部分を消失し必要な部分を作るリモデリングにより、その環境に適応した形状に変化することが知られています。新しい造形法はこの骨のリモデリングに適応した人工骨の作製法といえます。また、骨の内部構造までを造形することによって、骨髄の流れや血管を通すといった高い再現性が期待されます。

現時点では、荷重の低い顎・顔面領域を対象とした実用化を達成し、また非金属人工骨では最高レベルの強度と骨置換性を付与することに成功しています。次には、より自然骨に近づけるために、人工骨の強度を上げること、靭性（骨の「しなり」）の実現が今後の研究課題となっています。

ラット大腿骨における既存方法と新造形法材料の比較



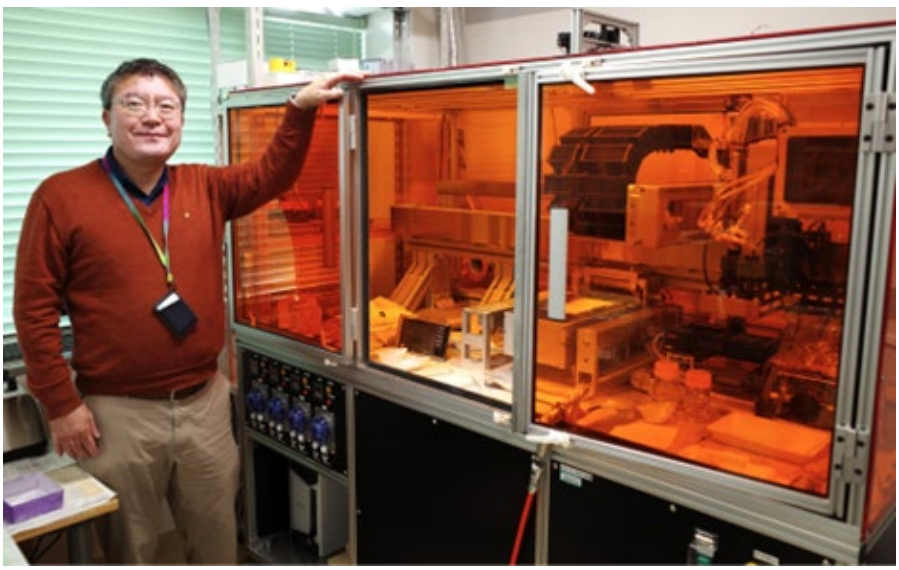
マッソントリクローム染色による組織観察。
既存の方法では人工骨の置換がみられないが、新造形法では組織に置換していることが分かる。

		欠損部位への適合性		高い強度	骨置換性
		欠損形状への適合性	欠損部の3D構造		
非金属人工骨	セメント型	△	×	○	×
非金属人工骨	ブロック・顆粒型	△	×	×	○
金属人工骨	金属（チタン）	○	△	○	×
非金属人工骨	3Dプリンターを用いた3D人工骨（理研での開発技術）	○	○	○	○

3Dプリンターを用いた3D人工骨の優位性

このたびは、本研究の要となる人工骨製作のための「3Dプリンター」をご寄附いただきました。これによって、研究の効率が飛躍的にアップし、研究を大幅に加速することが可能となりました。心より感謝申し上げます。

本研究成果は、骨に関わる疾患の早期治療や患者の生活の質（QOL）向上に貢献することが期待できます。また、研究機器／部品製作を通じて、様々な分野の研究推進に貢献しています。1日も早い実現を目指して研究に取り組んでまいります。ありがとうございました。



人工骨製作のための3Dプリンターと横田秀夫チームリーダー

3Dプリンターで製作した人工骨（ウサギの大腿骨骨頭）

募集特定寄附金（クラウドファンディング）及び使途特定寄附金
理化学研究所資料修復・保存プロジェクト

広報部記念史料室

理化学研究所記念史料室では、財団法人理化学研究所、株式会社科学研究所ゆかりの史料を中心に、我が国の科学技術をその黎明期から現在に至るまで、1世紀以上に亘って牽引し続けてきた理研の論文や研究成果品、研究者ゆかりの資料、研究所の特許、運営に関する資料など、日本の科学史上とても有益で貴重な史料を収集・保管しています。

これらの史料は、単に日本の科学技術の歴史を振り返るだけでなく、「日本の科学史」として再評価しながらグローバルヒストリーの観点からも検証し、時間空間の繋がり全体の中で歴史を見直すことによって、未来につなぐためにも極めて重要な史料といえるものであり、未来の科学者を育む土壌となるものです。

理研記念史料室では、2022年度に「科学史を未来へ繋ぐ」理化学研究所　資料修復・保存プロジェクトとして、理研第1号のクラウドファンディングを実施しました。多くの方々から700万円を超えるご寄附をいただき、史料の修復・保存を実施しました。

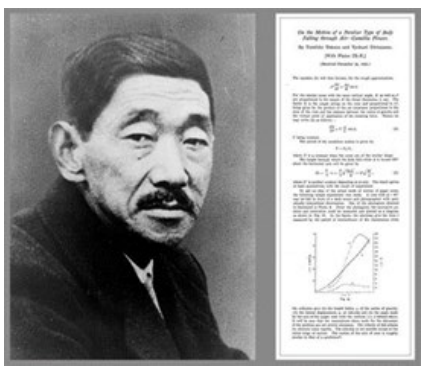
特にクラウドファンディングによるご寄附では、日本の現代物理学の父と呼ばれる仁科芳雄の1920年代から1930年代にかけての資料（研究過程のメモや実験ノート、直筆原稿、留学中の日記、書簡など）の修復や保存環境の整備を実施しました。

これまで限られた予算の中で、毎年少しずつ修復を進めてきたところを大幅に加速することができ、貴重な史料を永久に保存するための作業を進めることができました。

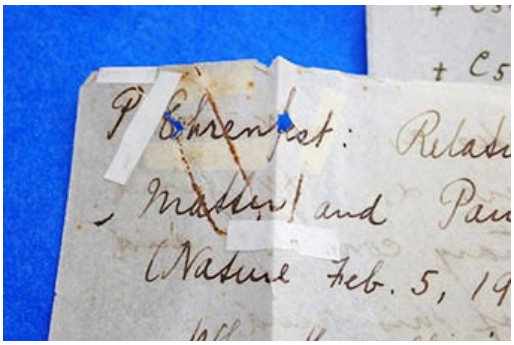
理研初のクラウドファンディング
「科学史を未来へ繋ぐ」理化学研究所　資料修復・保存プロジェクト

クラウドファンディングでは、279人の支援者から合計7百3万3千円のご寄附をいただきました。

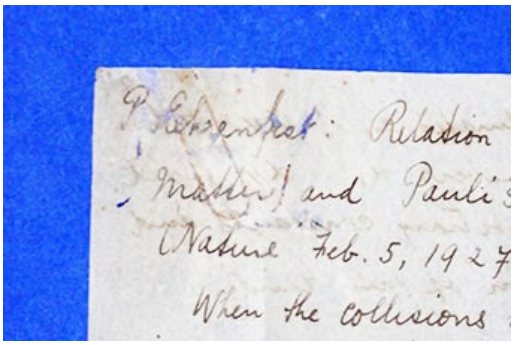
反響のあった返礼品
寺田寅彦の論文手拭い



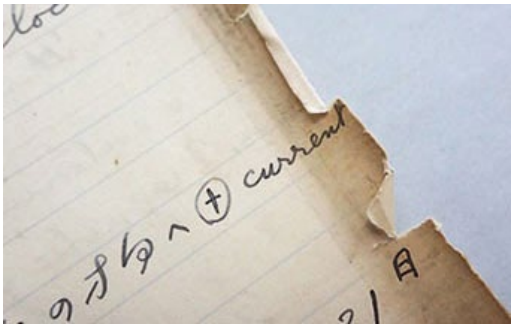
サビ除去・補修紙除去



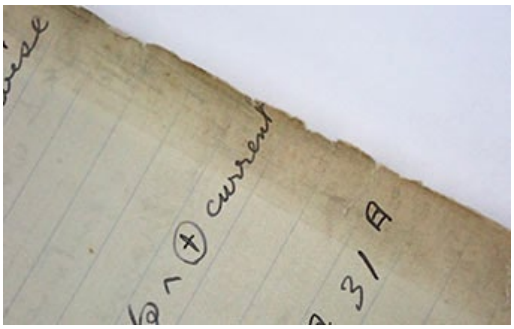
修復後



破れの繕い



修復後



クラウドファンディング終了後も、引き続き応援して下さる方々から、ご支援をいただきながら修復・保存事業を続けています。関係者一同、心から深く感謝申し上げます。

職員によるクリーニング作業

修復が必要な史料は、まだまだ多数保管されており、職員が少しづつ修復作業を進めています。また、古い研究機器の中には、部品が手に入らない、分かる技術者がいない等の理由で修復不可能となっているものもあり、少しでも早く作業を進める必要があります。
引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

理研記念史料室スタッフ

修復を待つ史料

募集特定寄附金
SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援
＜ご支援へのお礼とご報告＞

環境資源科学研究センター（CSRS）

2021年1月より開始しました「SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金（特定募集寄附金）」事業は2025年3月31日をもって無事終了いたしました。この間の総受入額は、皆様からの温かいご支援により、総額10,750,000円となりました。環境資源科学研究センターの事業活動への深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

環境資源科学研究センター長（寄附金事業当時）
齊藤 和季
（現　環境科学領域総括 / CSRS特別顧問）

理化学研究所栄誉研究員
篠崎 一雄

区分	件数	受入金額（千円）
個人	27	4,540
法人	4	6,200
団体	1	10
合計	32	10,750

皆様からお寄せいただいた寄附金は、環境資源科学研究センター（CSRS）の人材活用・育成事業の強化のため「CSRSスチューデント・リサーチャー支援制度」や「CSRS若手研究者国際交流支援ファンド」などの資金に充当させていただきました。

使途	件数	金額（千円）
CSRSスチューデント・リサーチャー支援制度	6 (延べ人数)	2,303
若手研究者国際交流支援ファンド	8	6,456
国際シンポジウム	1	618
一般管理費		1,075
その他		298
合計		10,750

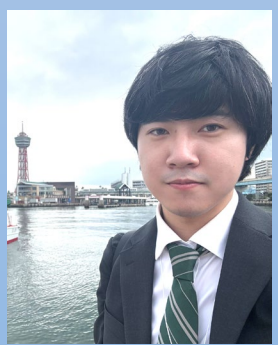
★CSRSスチューデント・リサーチャー支援制度

大学院博士前期課程・後期課程に在籍する若手研究人材をパートタイマーとして受け入れ、CSRS研究室での研究業務への従事を通じ、研究者を志す学生の支援を行う制度です。

研究者からの御礼の言葉

Through the CSRS Student Researcher Support Program, I had the valuable opportunity to engage in interdisciplinary research at CSRS while conducting experiments and writing papers for my master's and doctoral studies. This experience provided numerous insights that greatly enriched my research activities. I am deeply grateful for the instructions from team leaders, the support among members, the excellent research environment, and the generous financial support, all of which enabled me to focus more fully on my research. I sincerely appreciate having been given such an opportunity.

（日本語訳：CSRSスチューデント・リサーチャー支援制度を通じて、修士・博士課程での実験や論文執筆と並行して、CSRSにおける分野横断的な研究に携わることができたことは、私の研究活動に多くの示唆を与えてくれる貴重な経験となりました。チームリーダーからのご指導、メンバー同士の支え合い、そして優れた研究環境の提供に加え、経済的なご支援も大変ありがたく、研究に一層集中することができました。このような機会をいただけたことに、御礼申し上げます。）



★若手研究者国際交流支援ファンド

CSRSに在籍する40歳以下の若手研究者・大学院生を対象とし、海外機関との研究ネットワーク構築のための渡航費用を支援することで、若手研究者の人材育成、さらには組織間連携や日本の国際競争力の強化を目指す制度です。内部審査を通過した8名の若手研究者・大学院生がドイツ、イギリス、スイス、アメリカの研究機関等をそれぞれ訪問し、共同研究プロジェクト開始に向けた議論、実験手法の習得等の研究交流を行いました。

研究者からの御礼の言葉

この度は、ドイツ、マックス・プランク研究所での研究交流の機会を支えてくださり、心より感謝申し上げます。このご支援のおかげで、現地の研究者との交流を深め、最先端のメタボローム解析技術について学ぶことができました。また、今後の共同研究につながる貴重なネットワークを築くことができたことは、私の研究にとって大きな財産となります。今回の滞在で得た知見や経験を活かし、カイメン動物とその共生微生物のメタボロミクス・メタゲノム解析をさらに発展させ、より意義のある研究成果へとつなげてまいります。引き続き精進してまいりますので、引き続き応援してくださると幸いです。改めまして、ご厚意に深く感謝申し上げます。

本支援に感謝申し上げます。米国研究者との交流により、最先端の研究手法について知見を得るとともに、今後の国際共同研究に向けた重要な第一歩を踏み出すことができました。

I sincerely appreciate the support that made this exchange possible. This experience has greatly contributed to my research and professional development, and I look forward to applying the knowledge and skills I have gained.
（日本語訳：この交流を可能にしてくださった皆さまのご支援に心より感謝いたします。この経験は、私の研究と専門能力の向上に大いに役立ちました。そして、得た知識とスキルを活かすことを楽しみにしています。）

I am very grateful for the donation which has made it possible to start this challenging project.
（日本語訳：いただいたご寄付により、このプロジェクトを開始することができました。心より感謝申し上げます。）

Ⅳ　理研寄附金のご案内

理研では様々な形でご支援いただくための寄附テーマをご用意しております。

★理研の活動全般に対してご支援いただく寄附金（一般寄附金）

※次の7つの目的に沿った研究活動や取り組みに活用させていただいています。

- ・社会的注目度の高い分野・テーマの研究促進
- ・話題性に富む成果の普及・紹介の強化
- ・研究環境の整備
- ・人材育成・確保・輩出に向けた取組の強化
- ・国際化に向けた取組の強化
- ・所内外の連携・共同利用の促進
- ・研究成果の社会還元に向けた取組の強化

（募集特定寄附金）

★量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金

★理研CBS未来ファンド　脳とこころの研究 未来を拓く寄附金

★女性AI研究者の育成支援寄附金

★若手AI研究者の育成支援寄附金

★バイオリソース高度化プロジェクト
～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

★スーパーコンピュータ × 次世代人材育成プロジェクト

★ご支援者のみなさまに寄附金の使途を選んでいただき、ご支援いただく寄附金（使途特定寄附金）

★クラウドファンディング

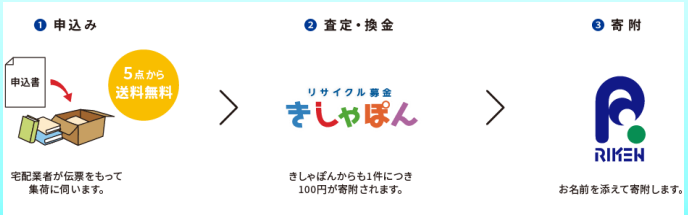
プロジェクトを企画して、クラウドファンディングプラットフォームの「レディーフォー」を通じて広く社会の人々に寄附をお願いする寄附金（募集特定寄附金）

ウェブサイト　https://readyfor.jp/

READY FOR

★リサイクル募金

ご不用になった古本・DVD・CD・ゲームなどをリサイクルすることで、その査定額を理研へ寄附していただく寄附金（一般寄附金）



ウェブサイト　https://kishapon.com/about/

遺贈によるご寄附について

遺贈寄附には以下のような方法があります。

遺贈寄附をご検討の方は理研寄附金担当までご相談ください。ご意向に寄り添いながら丁寧にサポートさせていただきます。

遺言による寄附	相続財産の寄附	信託による寄附	香典からの寄附	その他の寄附
ご本人が遺言書を作成して行うご寄附	相続人が受け継いだ財産から行うご寄附	信託銀行など、信託を引き受ける方との契約によって行うご寄附	葬儀等に寄せられたお香典やお花代のお返しに代えて行うご寄附	生命保険信託によるご寄附や贈与契約によるご寄附

理化学研究所への遺贈寄附では、以下の優遇措置を受けることができます。

相 続 税

●遺言によるご寄附

ご遺贈いただいた財産は、相続税の課税対象になりません。

●相続財産のご寄附

ご寄附いただいた相続財産には、相続税がかかりません。
（相続税の申告期限までにご寄附された場合）

所得税・住民税

●所得税

理化学研究所は税制上の「特定公益増進法人」となっており、一定の優遇措置を受けることができます。（確定申告が必要となります。）

●住民税

お住まいの自治体により、個人住民税の控除も受けられます。

遺贈寄附に関する専門的サポートのために、以下の機関と協定を結んでいます。

●三井住友銀行

寄附者の特典

ご支援いただいた寄附者のみなさまには、特典をご用意しています。

ご支援いただいた寄附金によってオリジナルの特典が用意されることもあります。

※特典はご希望された方を対象としています。

- **寄附者の御芳名を公表**

  ご寄附いただいた個人の氏名又は法人の社名を、寄附者ご芳名一覧　として理研ウェブサイトで公表させていただきます。

- **科学講演会のご案内**

  理研の最前線で活躍する研究者が講演する「科学講演会」の御案内をお送りします。

- **寄附者の会「理研を育む会」へのご入会**

  ご寄附いただいた皆さまを「理研を育む会」の会員にお迎えします。

税法上の優遇措置

理研は税制上の「特定公益増進法人」となっています。理研への寄附金は確定申告を行うことで、国税（所得税又は法人税）及び地方税（個人住民税）について、税法上の優遇措置を受けることができます。

➢ 個人寄附の場合

＜所得税＞

その年中に支出した特定寄附金の合計額（総所得の40%相当額が限度）から2,000円を引いた額を総所得の合計額から控除することができます。

＜個人住民税＞

次のとおり個人住民税（個人県・府・市町村民税）の寄附金税額控除を受けることができます。（県・府と市区町村のどちらも指定している場合はそれぞれ控除されます。）

・個人県・府民税は、県・府が指定した寄附金の合計額（総所得の30%相当額が限度）から2,000円を引いた額の4%

・個人市町村税は、市町村が指定した寄附金の合計額（総所得の30%相当額が限度）から2,000円を引いた額の6%

➢ 法人寄附の場合

＜法人税＞

一般の寄附金とは別枠で損金の額（（所得の6.25%相当額＋資本金等の0.375%相当額）×1/2が限度）に算入することができます。

「理研を育む会」（寄附者の会）

御寄附をいただいた皆様を「理研を育む会」の会員にお迎えしています。入退会は自由、入会金や会費は無料です。

理研への寄附金額累計で、一定の金額以上をご寄附いただいた方には会員称号と記念プレートを贈呈します。

また、ご同意をいただいた会員の皆様は、個人にあっては氏名を、法人にあっては社名を会員名簿に掲載し、ホームページ等で公表します。

会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ

紺綬褒章（国の褒章制度）

公益のために私財を寄附された方に授与される「紺綬褒章」に推薦させていただくことがあります。

授与基準に基づき、
個人　500万円以上
団体1,000万円以上
のご寄附を対象としております。

紺綬褒章の授与に際しましては、理化学研究所より特製の顕彰額を進呈させていただきます。

V　ご寄附の流れ

理研へのご支援は、クレジットカード決済または銀行振込によりお手続きをお願いします。

理研寄附金ホームページの寄附メニューから選択
https://www.riken.jp/support/

クレジットカード決済（オンライン申込）	銀行振込	
簡単・スピーディー！ おすすめ	簡単・スピーディー！	
	オンライン申込	書面申込書ダウンロード
寄附申込みの必要事項とクレジットカード情報を入力してください。	寄附申込みの必要事項を入力してください。	寄附申込みの必要事項を入力・記入のうえ、原紙を（申込書送付先住所）へ郵送いただくか、Emailにてファイルを添付してご送付ください。
「[×××××××]申込受付のお知らせ」メールが自動配信されます。	「[×××××××]申込受付のお知らせ」メールが自動配信されます。	
理研にてお申込内容を確認後、受け入れが確定しましたら、決裁承認を行います。「[×××××××]ご寄附の受入及び決済完了のお知らせ」メールが届きましたら、寄附手続きは完了です。	理研にてお申込内容を確認後、受け入れが確定しましたら、寄附金振込先口座情報を記載した振込み依頼メールを送信します。	
	※メールではなく,郵送書面による振込依頼書が必要な場合は,『郵送書面による振込先案内を希望』へ☑にてお知らせください。	
	銀行振込みをお願いします。 お振込みによって寄附手続きが完了します。 （振込手数料はご負担をお願いします。）	

※領収書発行日（書面日付）は、各クレジットカード会社から理研への入金日となります。寄附金の受付日及びクレジットカード決済口座からの振替日ではありませんので、ご承知おきください。
※理研は、カード番号、限度額等のクレジットカード情報の内容確認と保有は一切行っておりません。

＜申込書送付先住所＞
〒351-0198　埼玉県和光市広沢2番1号
国立研究開発法人理化学研究所
連携促進部　協創連携推進課（W-C17）

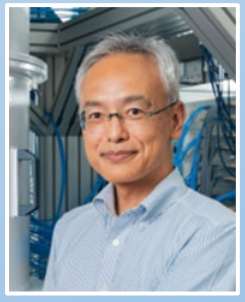
理研寄附金

Ⅵ　募集中のプロジェクト

★量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金

量子コンピュータ研究センター（RQC）では、量子力学の原理に基づく革新的な情報処理技術としての量子コンピュータの実現を目指しています。優秀な人材を世界中からRQCに集結させ、共に研究していくために、次世代を担う若手研究者を量子情報科学分野に惹きつけ、量子研究を支援する活動をしていきます。

●主な使途：量子科学研究者の育成、研究環境の整備等
●募集金額：1億0545万7181円（※ディラック定数より引用）
●募集期間：2023年7月3日～2028年3月31日



RIKEN QUANTUM COMPUTING　量子コンピュータ研究センター（RQC）

★女性AI研究者の育成支援寄附金

革新的な人工知能基盤技術を開発し、科学研究の進歩や実社会における課題解決に貢献することを目指す研究センターにおいて、女子中高生を対象としたセミナーを実施することにより、女性の数理・情報系の大学への進学促進のアプローチを行い、数理・情報系に進学した女子大学学部生に女性AI研究者のキャリアを示すことで、博士課程進学者の増加を目指し、女性研究者を目指す人材の裾野を広げることを目的としています。

●主な使途：女子中高生を対象のセミナー、女子学部生対象サマーキャンプ、
　　イベント立案のための調査研究
●募集金額：750万円
●募集期間：2024年12月1日～2032年3月31日

★若手AI研究者育成支援寄附金

次世代を担う若手研究者の独自の発想に基づく研究活動を支援し、国内外の若手研究者間の交流促進と、分野外の研究者との交流も深めること等によって総合的にAI関連研究者の育成に取り組みます。

●主な使途：若手研究者の支援（派遣、留学、学会参加等）
●募集金額：1億円
●募集期間：2025年7月15日～2032年3月31日

AIP　革新知能統合研究センター（AIP）

★理研CBS未来ファンド　－脳とこころの研究 未来を拓く寄附金

脳神経科学研究センターでは、脳・神経疾患の克服等を目指して、脳と心の仕組みを根本から理解するための基礎研究を推進しています。基礎研究は大きな成果を生むために長期間を必要とするため、熱意と新しい視点、挑戦意欲を持った若手の研究人材を育成していきます。

●主な使途：若手研究者の育成支援
●募集金額　6千5百万円
●募集期間：2023年9月1日 - 2028年8月31日

脳神経科学研究センター（CBS）

★バイオリソース高度化プロジェクト
～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

バイオリソース研究センターでは、バイオリソースに関する世界最大級の研究基盤として、生命科学分野で使用される主要な5種類のバイオリソース（実験動物マウス、実験植物、iPS細胞等のヒト及び動物由来細胞株、培養微生物株、これら由来の遺伝子材料）と付随する情報を収集・保存し、必要とする国内外の研究者に提供しています。

本事業では、社会的ニーズ・研究ニーズに応える、特性情報も揃った、より付加価値の付いたバイオリソースを提供するために、更に加速して特性情報の解析を実施することで、ライフサイエンス研究に貢献します。

●主な使途：ゲノム情報や表現型情報等の特性情報をデータベースとして整備
●募集金額：13億5200万円
●募集期間：2024年7月1日 - 2034年3月31日

バイオリソース研究センター（BRC）

★スーパーコンピュータ × 次世代人材育成プロジェクト
～世界と戦える人材を育てる～

世界トップクラスのスーパーコンピュータ「富岳」を擁する理化学研究所計算科学研究センター（R-CCS）は、次世代の計算科学・計算機科学を切り拓く若き才能の発掘・育成に取り組んでいます。

本事業は、大学生、高専生等を対象にして、R-CCSが国内外で主催・共催するHPC（高性能計算）関連のスクールやワークショップ等への参加、HPCの世界的な学会への参加や、国内外でのネットワーキング機会を提供・支援し、世界を舞台に活躍する次世代の人材を日本から輩出することを目指しています。

●主な使途：国内外のプログラミングコンテストへの協力、HPCやAIに関する国際学会、スクール等への学生等の派遣等
●募集金額：1億円
●募集期間：2025年10月1日 - 2030年3月31日

計算科学研究センター（R-CCS）

Ⅶ トピック

寄附贈呈式

りそなグループ様の「みらいE-us＋プロジェクト」による寄附金の贈呈式を執り行いました。

※みらいE-us＋プロジェクト
資産運用および寄付を通じた社会貢献による持続可能な”より良い社会の実現“を目指す取り組み。

理研を育む会

2024年度は個人4名、法人2社の方々に会員称号と記念プレートを贈呈させていただきました。

※ 寄附金額の累計が一定の金額に到達された方には、会員称号と記念プレートを贈呈させていただいております。

会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ

★名誉会員（シルバープレート）

（個人）

2名 様

★功労会員（ブロンズプレート）

（個人）

正木 克幸 様

他1名様

（法人）

富士フィルム和光純薬株式会社 様

他1社様

正木 克幸 様

あなたと社会の未来を科学でつなぐ絆

RIKEN

【お問い合わせ】
国立研究開発法人理化学研究所
連携促進部　協創連携推進課（W-C17）
〒351-0198　埼玉県和光市広沢２－１
電話：０５０－３４９５－００１９
Mail：kifu-info@ml.riken.jp

RIKEN 2025-041

理研サポーター募集中
理研サポーター募集中
理研サポーター募集中
理研サポーター募集中